

( 昭和25年4月1日に発刊された「広報うつのみや」の  
中から、昭和を感じさせる懐かしい記事をご紹介します。)



● (一口メモ) 移動図書館は、市民の利便性を図る目的で、  
● 記事の通り昭和46年7月から始まり、市内のステーショ  
● ンを巡回してきました。その後、図書館や生涯学習セン  
● ター図書室などが整備されたことにより、平成17年3月に  
● その役割を終えました。なお、移動図書館車は、南アフ  
● リカ共和国に寄贈されました。

# 昭和の記憶

～あんトキの記事から～



## 「移動図書館さつき号」スタート

(広報うつのみや昭和46年8月15日号)

移動図書館「さつき号」の巡回が始まりました。

7月26日、初の巡回ステーションは、日の出1丁目の公民館前。市長も出席して、待ちかまえた約50人の市民に340冊を貸し出しました。

現在、日に4カ所から5カ所のステーションを回っていますが、一般の小説、子ども向け読物、幼児教育書などが好まれ、毎日200冊から300冊の貸し出しがあり、皆さんの盛んな読書欲がうかがわれます。また、読みたい本の注文もたくさんあり、市はこれに応じられるよう、今後、つとめていきます。

「花」と「靴が鳴る」のメロディーが聞こえたら「さつき号」です。皆さん大いにご利用ください(原文のまま)。